

群馬県中小企業団体事務局長会 冬季研修会

「組合活性化のポイント」



群馬県中小企業団体事務局長会（津久井真次会長）は、12月5日、高崎市・ホテルメトロポリタン高崎において、冬季研修会を開催した。



津久井会長

今回は、「組合活性化のポイント」をテーマに、全国中小企業団体中央会事務局長次長・及川勝氏が講演を行った。

はじめに、近年では中小企業組合に限定した補助金・融資制度がないことや、市場の成熟化によるスケールメリットの減少で、中小企業から見た組合加入のメリットが相対的に低下していると解説。

次に、組合への加入理由として真っ先に挙げられるのが『信用力の獲得』であるとし、「組合への加入は、社会的信用の付与や取引先の開拓・確保に結び付けることができる。今後は、組合に加入することや組合事業を利用するメリッ

トをより『見える化』していくことが重要になる」と訴えた。

最後に、スケールメリットを生かした海外展開をはじめ、BCP策定等で災害時の体制強化に取組む全国の先進組合を紹介すると共に、「組織化は中小企業にとつての生き残り戦略でもあり、中小企業の継続は地域の雇用を守るだけでなく、人々が生活する地域社会を維持することを意味する。中小企業組合の専門支援機関である我々も、中小企業の目線から本当に必要とされる組合の姿を共に模索していきたい」と締めくくった。



及川 勝氏

研修会終了後、懇親会を開催。津久井会長による主催者挨拶の後、細谷恒一副会長の乾杯により開宴。終始和やかな雰囲気での交流・懇親が深められる中、小林幸次副会長の中締めにより盛会裡に終了した。